

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	川口・株式会社北信マンション新築	階数	地上10F
建設地	埼玉県川口市本町	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 予定	評価の実施日	2019年9月17日
敷地面積	698㎡	作成者	高松建設株式会社
建築面積	336㎡	確認日	2019年9月17日
延床面積	2,620㎡	確認者	高松建設株式会社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9**

環境品質 Q

環境負荷 L

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 建物全体でLEDの採用。	その他 特になし	
Q1 室内環境 T2等級の窓や吸音材・遮音材を採用し、遮音に配慮している。	Q2 サービス性能 内装仕上げ材には更新必要間隔が長いものを採用しており、耐用性に優れている。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽を設けている。
LR1 エネルギー 断熱材・開口部断熱性能向上に配慮することで、一次エネルギー消費量BEI = 0.85を達成し、エネルギー負荷の抑制に努めている。	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を83%に抑えられている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS  
川口・株式会社北信マンション新築工事

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
		<b>Q 建築物の環境品質</b>				
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-	<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.9</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.1</b>
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.49	<b>3.0</b>	0.50	
1.2 遮音		<b>5.0</b>	0.49	<b>3.0</b>	0.50	
1 開口部遮音性能	非住宅開口部 : T2	5.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		<b>3.0</b>	0.02	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.0</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1 室温		3.0	0.61	3.0	0.63	
2 外皮性能		3.0	0.36	3.0	0.38	
3 ソーン別制御性		3.0	0.03	-	-	
2.2 湿度制御		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00	<b>3.2</b>
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.32	<b>3.0</b>	0.30	
1 昼光率		3.0	0.55	3.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.45	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.28	<b>4.0</b>	0.30	
1 昼光制御	庇(バルコニー)・カーテンの2種類で昼光を制御(住居部分)	3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.14	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.27	<b>3.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>		<b>2.9</b>	0.25	<b>2.7</b>	1.00	<b>2.7</b>
4.1 発生源対策		<b>3.0</b>	0.59	<b>3.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.39	<b>2.3</b>	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		3.0	-	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		<b>1.0</b>	0.02	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		1.0	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.2</b>	0.40	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.40	
1 広さ感・景観	天井高2.5m以上(2.548m)	1.0	0.03	4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		3.0	0.03	-	-	
3 内装計画		1.0	0.95	1.0	0.50	
1.3 維持管理		<b>2.5</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30	-	-	<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.5</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	採用している仕上げ材の耐用年数:20年以上(非住宅・住宅共通)	4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要配管の性能:B Eは不採用	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		<b>2.0</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備		1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
3.1 空間のゆとり			<b>3.0</b>	0.02	<b>3.0</b>	0.50	
1	階高のゆとり		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.60	
2	空間の形状・自由さ		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	
3.2 荷重のゆとり			<b>3.0</b>	0.02	<b>3.0</b>	0.50	
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	0.95		-	
1	空調配管の更新性		<b>3.0</b>	0.20		-	
2	給排水管の更新性		<b>3.0</b>	0.20		-	
3	電気配線の更新性		<b>3.0</b>	0.10		-	
4	通信配線の更新性		<b>3.0</b>	0.10		-	
5	設備機器の更新性		<b>3.0</b>	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		<b>3.0</b>	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.0</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>1.0</b>	0.30		-	<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>2.0</b>	0.40		-	<b>2.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>3.0</b>	0.30		-	<b>3.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>3.0</b>	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.1</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.8</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制			<b>2.8</b>	0.20		-	<b>2.8</b>
2 自然エネルギー利用			<b>3.0</b>	0.10		-	<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.85	<b>4.7</b>	0.50		-	<b>4.7</b>
4 効率的運用			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	0.08		-	
4.1	モニタリング		<b>3.0</b>	0.50		-	
4.2	運用管理体制		<b>3.0</b>	0.50		-	
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	0.92		-	
4.1	モニタリング		<b>3.0</b>	0.50		-	
4.2	運用管理体制		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.4</b>
1 水資源保護			<b>2.2</b>	0.20		-	<b>2.2</b>
1.1 節水			<b>1.0</b>	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		<b>3.0</b>	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		<b>3.0</b>	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			<b>2.4</b>	0.60		-	<b>2.4</b>
2.1 材料使用量の削減			<b>2.0</b>	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			<b>3.0</b>	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			<b>3.0</b>	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			<b>1.0</b>	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			<b>2.0</b>	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			<b>3.0</b>	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		<b>3.0</b>	0.50		-	
3	冷媒		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.9</b>
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率を83%に抑えられている	<b>3.6</b>	0.33		-	<b>3.6</b>
2 地域環境への配慮			<b>2.2</b>	0.33		-	<b>2.2</b>
2.1 大気汚染防止			<b>3.0</b>	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>2.0</b>	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.0</b>	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		<b>3.0</b>	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25		-	
3	交通負荷抑制		<b>1.0</b>	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		<b>1.0</b>	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			<b>3.0</b>	0.33		-	<b>3.0</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	騒音		<b>3.0</b>	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			<b>3.0</b>	0.40		-	
1	風害の抑制		<b>3.0</b>	0.70		-	
2	砂塵の抑制		<b>3.0</b>	-		-	
3	日照障害の抑制		<b>3.0</b>	0.30		-	
3.3 光害の抑制			<b>3.0</b>	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		<b>3.0</b>	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		<b>3.0</b>	0.30		-	

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート











使用評価ソフトウェアバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	川口・株式会社北信マンション新築工事	BEE	0.9	BEEランク
------	--------------------	-----	-----	--------

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.6	+	2.0	=	5.6 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.6
< 配慮した内容を記述 >			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.0
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
< 配慮した内容を記述 >			

: 入力欄